



鳥取県後期高齢者医療広域連合監査委員公表第5号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表する。

平成26年12月9日

鳥取県後期高齢者医療広域連合代表監査委員

磯江 俊二



平成 26 年 度

定 期 監 査 報 告 書

鳥取県後期高齢者医療広域連合監査委員

第1 監査の概要

I 監査の対象

平成26年10月末現在における会計予算に係る事務の執行及び現預金の管理について監査を行った。

- (1) 平成26年度一般会計の予算の執行状況
- (2) 平成26年度後期高齢者医療特別会計の予算の執行状況
- (3) 平成26年度歳入歳出外現金の受払い状況
- (4) 平成26年度後期高齢者医療制度臨時特例基金及び後期高齢者医療給付費準備基金の運用状況
- (5) 上記各会計に係る現預金有り高
- (6) 保険料収納状況及び給付金の状況

II 監査の実施日

平成26年11月25日

III 実施した監査手続

監査の対象となった財務に関する事務の執行について、提出された資料及び提示のあった関係書類等に基づいて検証し、証拠突合その他通常実施すべき監査手続を実施した。

第2 監査結果並びに所見

- I 平成26年度一般会計に係る予算の執行状況については、順当であると認めた。
- II 平成26年度後期高齢者医療特別会計に係る予算の執行状況については、順当であると認めた。
- III 平成26年度歳入歳出外現金の受払い状況については、適正であると認めた。
- IV 平成26年度後期高齢者医療制度臨時特例基金及び後期高齢者医療給付費準備基金の運用状況については、適正であると認めた。
- V 上記各会計に係る現預金有り高については、適正であると認めた。
- VI 保険料の収納状況については、普通徴収にかかる保険料の収納率は前年同期と比較すると0.6%低下しているものの、全般に適正であると認めた。

第3 各会計の状況

I 一般会計

歳入

(金額単位：千円)

款	予算現額 A	収入済額 B	収入未済額 A-B	予算執行率 (%)	構成比 (%)
分担金及び負担金	42,169	23,295	18,874	55.2	87.2
繰越金	3,427	3,427	0	100.0	12.8
諸収入	2	5	△3	200.0	0.0
計	45,598	26,727	18,871	58.6	100.0

※収入未済額欄に△とあるのは、予算に対し収入未済はないが、予算現額よりも超過しているためである。

歳出

(金額単位：千円)

款	予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	予算執行率 (%)	構成比 (%)
議会費	1,090	29	1,061	2.7	0.1
総務費	44,008	20,457	23,551	46.5	99.9
予備費	500	0	500	0.0	
計	45,598	20,486	25,112	44.9	100.0

収支残高 6, 2 4 1 千円

歳入面では、全体の予算執行率は58.6%と順当に執行されている。その中で、分担金及び負担金の予算執行率は55.2%と予算どおり受入れしており、収入済額の87.2%を占めている。繰越金は3,427千円の実績であった。このため10月に補正予算化され、100%の収入済となっている。

歳出面では、全体の予算執行率は44.9%と順当に執行されている。

Ⅱ 特別会計
歳 入

(金額単位：千円)

款	予算現額 A	収入済額 B	収入未済額 A-B	予算執行率 (%)	構成比 (%)
市町村支出金	12,436,775	5,864,226	6,572,549	47.2	12.3
国庫支出金	26,797,110	17,471,731	9,325,379	65.2	36.7
県支出金	6,945,759	5,030,469	1,915,290	72.4	10.6
支払基金交付金	31,650,603	15,978,034	15,672,569	50.5	33.5
特別高額医療費共同 事業交付金	10,000	3,156	6,844	31.6	0.0
財産収入	1,550	36	1,514	2.3	0.1
繰 入 金	681,928	464,369	217,559	68.1	1.0
繰 越 金	2,764,755	2,764,755	0	100.0	5.8
県財政安定化基金借入金	1	0	1	0.0	0.0
諸 収 入	73,287	93,161	△19,874	127.1	0.0
計	81,361,768	47,669,937	33,691,831	58.6	100.0

※収入未済額に△とあるのは、予算に対し収入未済はないが、予算現額よりも超過しているためである。

歳 出

(金額単位：千円)

款	予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	予算執行率 (%)	構成比 (%)
総 務 費	212,643	97,307	115,336	45.8	0.3
保険給付費	77,570,896	36,599,275	40,971,621	47.2	94.9
財政安定化基金拠出金	34,703	34,155	548	98.4	0.1
特別高額医療費共同 事業拠出金	12,600	6,156	6,444	48.9	0.0
保険事業費	231,512	13,263	218,249	5.7	0.0
基金積立金	1,308,183	1,267,871	40,312	97.0	3.3
公 債 費	2,500	0	2,500	0.0	0.0
諸支出金	1,988,131	525,407	1,462,724	26.4	1.4
予 備 費	600	0	600	0.0	0.0
計	81,361,768	38,543,434	42,818,334	47.4	100.0

収支残高 9, 1 2 6, 5 0 3 千円

歳入面では、全体の予算執行比率は58.6%（前年度63.1%）と順当に執行されている。歳入合計金額では、市町村支出金、国庫支出金、県支出金及び支払基金交付金が収入済額の93.1%を占めている。

歳出面では、全体の予算執行比率は47.4%（前年度48.1%）と順当に執行されている。歳出のほとんどが保険給付費で、歳出合計金額の94.9%を占めており、執行率47.2%となっている。

Ⅲ 歳入歳出外現金

（金額単位：千円）

項 目	期首現在高	当期受入	当期支払	10月末残高
担保預金、保険料預り	1,056	727	703	1,080

残高は、指定金融機関保証担保金1,000千円及び社会保険料預り金80千円の合計である。

Ⅳ 基金会計

（金額単位：千円）

基金の名称	期首現在高	当期受入	当期支払	10月末残高
後期高齢者医療制度 臨時特例基金	177,933	487,669	464,369	201,233
後期高齢者医療給付費 準備基金	1,250,614	780,202	0	2,030,816

後期高齢者医療制度臨時特例基金は、23,300千円増加し、10月末現在残高201,233千円である。後期高齢者医療給付費準備基金は、780,202千円増加し、10月末現在残高2,030,816千円である。これらの基金は、指定金融機関である鳥取銀行への定期預金で運用している。

以上各会計に係る現預金有り高は、別途例月出納検査報告書のとおり適正であると認められる。

第4 保険料収納状況及び保険給付状況

I 保険料収納状況（平成26年10月末現在）

納付されるべき保険料賦課額	2, 173, 049千円
還付すべき額を差引いた実質収納額	2, 088, 383千円
（ 収納未済額 [還付未済額を除く]	84, 666千円）

現年度分の収納率は特別徴収が100%、普通徴収が87.3%（前年同期87.9%）になっており、全体で96.1%と順当である。

II 保険給付の状況

平成26年度の保険給付実績表（11月17日現在）

（金額単位：千円）

区 分	給付額	1人平均額	構成比 (%)
一般療養給付費	39,268,604	440	92.4
一般療養費	151,202	2	0.4
特定療養給付費	1,139,755	13	2.7
特定療養費	5,272	0	0.0
一般訪問看護療養費	149,600	2	0.3
特定訪問看護療養費	2,991	0	0.0
一般移送費	81	0	0.0
特定移送費	0	0	0.0
診療報酬審査支払手数料	114,849	1	0.3
療養費審査支払手数料	500	0	0.0
レセプト電算システム等手数料	900	0	0.0
レセプトデータ提供料	1,587	0	0.0
レセプト管理システム手数料	11,959	0	0.0
一般高額療養費	1,396,210	16	3.3
特定高額療養費	195,688	2	0.5
一般高額介護合算療養費	10,428	0	0.0
特定高額介護合算療養費	469	0	0.0
葬祭費	52,720	1	0.1
合 計	42,502,815	477	100.0

注) 1人平均金額=給付額/平成26年10月末の被保険者総数 89, 177人

保険給付は総額425億281万5千円であり、被保険者一人当たり平均給付額は47万7千円となっている。